

PCR検査検体を採取していただく際のお願い(注意事項)

1 検体を採取していただく際のご留意事項

咽頭ぬぐい液

- ・採取した綿棒を空の滅菌スピッツにそのまま入れてください。
- ・綿棒の柄の部分折りスピッツの蓋をしっかりと閉めてください。
- ・乾燥しないように、スピッツの蓋の周囲をテープなどで巻いてください。

注1) 培地入りスピッツを使用する際は、ウイルス検査用スピッツに入れ、細菌検査用スピッツには入れないでください。

スピッツは長さ13cm以内のものを使用してください。



柄を折りたたみ、
培地の中に入れる

血液

- ・抗凝固剤（EDTA又はクエン酸）入りの採血管に全血（2mL以上）採取してください。

注2) ヘパリン入り採血管は使用しないでください。

注3) 血清分離剤入りの採血管は使用しないでください。

※ 麻しん・風しんの検査診断にあたっては、血清学的診断も重要となります。

お手数ですが、貴院からIgM抗体検査を民間検査機関等に依頼いただき、結果が判明しましたら区福祉保健センターに情報提供をお願いいたします。
（横浜市衛生研究所では、PCR検査のみの実施となります）



EDTA又は
クエン酸入り

尿

- ・貴院所有の滅菌スピッツ（長さ13cm以内）に、10～15mL程度採取してください。

検体が漏れ出ないように、
スクリューキャップ容器を使用



2 検体の受領について

- ・回収に何うまで、検体は冷蔵（4℃）で保存をお願いいたします。
- ・検体を採取したら、区福祉保健センターに御連絡をお願いいたします。

3 その他

- ・大変申し訳ありませんが、スピッツや綿棒などは御提供ください。